

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県小田原警察署協議会
日 時	令和6年2月9日（金）午後2時から午後3時50分までの間
場 所	神奈川県小田原警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会長 夏目芳夫、副会長 田村正美、副会長 小澤摂子、委員 石塚達義、川村悟、川口博三、西島庸吉、中山智子、山本博文 計9人</p> <p>2 警察署側 警察署長 正野正樹、副署長 山崎孝幸、刑事担当次長 田中大輔、交通担当次長 赤間信之、地域担当次長 庭田慎也、調査官 鈴木晴美、生活安全課長 本郷大介、警備課長 風巻和弘 計8人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>前回諮問「架空請求詐欺の被害防止方策について」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンビニの店長やアルバイト店員に対し、架空請求詐欺の研修等をして欲しい。 2 携帯電話購入時やコンビニでプリペイドカード購入の時に、販売者から架空請求のパンフレットを配るなどし、手口の説明をして欲しい。 3 NHKでの詐欺の注意等の放送を時々してもらいたい。 4 民生委員や老人会等の会合で詐欺の教室を開催し、引き続き広報をしてもらいたい。 <p>との答申を受けて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 管内のコンビニ113店舗の店舗ごとに担当者を指定した。 2 当直勤務の際には、必ず1回以上担当するコンビニに立ち寄り、店員に対し教養及び声掛け依頼を実施した。 3 プリペイドカードの購入者に対して注意喚起する際のパンフレットをコンビニレジに設置した。 4 店員による阻止事案があった際の感謝状の贈呈及び同店舗担当警察官への署長賞の授与による士気の高揚を図った。 5 テレビニュースの「首都圏ネットワーク」において、『『ストップ』詐欺被害』のコーナーで詐欺手口を紹介中である。 6 関係機関と連携し、2月5日放送の特殊詐欺に関するラジオ番組に出演し、最近の詐欺手口などについて説明するなどの注意喚起を行った。 7 関係機関のケアマネージャーに対して教養を実施しパンフレットを配布した。 8 関係機関の定例会において教養を実施し、パンフレットを配布した。 9 その他自治会長に対し、防犯講話開催への呼びかけを実施中である。 <p>などを説明した。</p>
	諮問
	「集合住宅に対する巡回連絡の効果的な実施方策」について

答申

- 1 集合住宅訪問前の住民に対する巡回連絡の活用方法や必要性についての説明が不足していると思われるので、予め管理組合、自治会等に対し巡回連絡カードの活用方法、必要性について根気よく説明を続けてもらいたい。
- 2 予め集合住宅の管理組合から住民にたいし、共有のエントランスでの面談日時等をメールしてもらい、後日エントランスにおいて個別にパーテーションで区切るなどして個別面談をしてもらった方が良い。

業務説明

令和5年11月から令和6年1月までの業務推進状況及び令和6年2月から4月までの業務推進重点について説明した。

協議会からの要望・意見等

なし
